

2019年1月25日

■プロの音楽制作環境にも対応する音質と機能を備えたフラッグシップモデル
スタインバーグ オーディオインターフェース
『AXR4T』

－ フルサイズモデルで最大 32bit/384kHz 録音再生やレイテンシーフリーのシステムを実現 －

株式会社ヤマハミュージックジャパン（注 1）は、Steinberg Media Technologies GmbH（注 2、以下、スタインバーグ社）とヤマハ株式会社との共同開発によるスタインバーグブランドのオーディオインターフェースのフラッグシップモデル『AXR4T』を2019年3月1日（金）に発売します。

<価格と発売日>

品名	品番	価格	発売日
スタインバーグ オーディオインターフェース	AXR4T	オープンプライス	3月1日

<製品の概要>

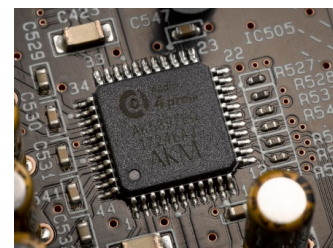
このたび発売する『AXR4T』は、プロの音楽制作現場にも対応する音質と機能を備えたオーディオインターフェースのフラッグシップモデルです。1U ラックマウントに対応するフルサイズの筐体に、最大 32bit/384kHz 録音再生可能な A/D・D/A コンバーターや 4 基のフロントハイブリッドマイクプリアンプ、レイテンシーフリーのシステムを構築する 28×24 マトリクスミキサーを搭載しています。また、デジタル・オーディオ・ワークステーションソフトウェア「Cubase AI」を付属しているので、購入したその日から 32bit 整数で音楽制作をはじめることが可能です。

詳細は以下の通りです。

<『AXR4T』主な機能>

1. 最大 32bit/384kHz 録音再生が可能

デジタルオーディオで高音質を実現するために、A/D・D/A 変換部の慎重な部品選定と評価を重ねたことで、スタインバーグのハードウェアとしては初めて 32bit 整数演算に対応しました。これにより、高解像度のオーディオ信号を正確かつ明瞭な録音再生することが可能になります。また、最大 384 kHz のサンプリングレートは、アンチエイリアシングフィルタの周波数を可聴帯域よりも遥かに高く設定でき、トランジェント、ステレオイメージ、および録音環境をより詳細に再現します。



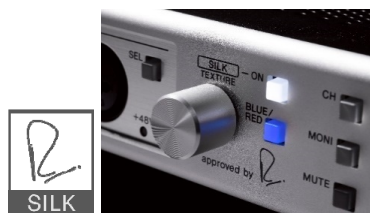
32bit 整数演算対応の
A/D・D/A コンバーター

2. 演奏を忠実かつ魅力的に捉えるハイブリッドマイクプリアンプ

フロントには、音を忠実に録り込むアナログ部と、音楽的で空気感豊かなサウンドを実現するデジタル部で構成された4つのハイブリッドマイクプリアンプを装備しています。アナログ部は、ヤマハオーディオの理念である「ナチュラルサウンド」を追求するために、部品の選定、回路レイアウト、電源やグラウンドなどの基本構成を再検討し、測定および検証を繰り返しながら、社内外のエンジニアによる徹底的な評価を経て調整しました。デジタル部は、Rupert Neve Designs社のトランスフォーマーと SILK プロセッシングを、ヤマハ独自のモデリング技術「VCMテクノロジー」によって正確にモデル化しており、サウンドに音楽的な深みと質感を付加します。SILKは2種類のモードがあり、BLUE モードは中低域、RED モードは中高域の倍音成分を強調します。



ハイブリッドマイクプリアンプ



SILK プロセッシング

3. レイテンシーフリーのシステムを構築するマトリクスミキサーを搭載

ヤマハカスタムメイドのDSPX チップにより、入力信号や DAW の出力をミックスバスにルーティングするなど、28 x 24 マトリクスミキサーを使用したレイテンシーフリーのシステムが構築可能です。また、Mac にインストールした dspMixFx AXR アプリケーションを使えば、ミキサー、マトリクスミキサー、メーターなどのウィンドウですべての設定をコントロールし、レベルやルーティング状況を常に把握することができます。これらの設定はシーンとして保存し、後で自由に呼び出すことが可能です。



28×24 マトリクスミキサー

4. 4種類のプレミアム DSP エフェクト内蔵

『AXR4T』は、4種類のプレミアム DSP エフェクトを内蔵しています。「EQ 601」は、70年代から人気のあるイコライザーを再現し、その独特の歪み特性を備えています。「Compressor 276」は、レコーディングスタジオでよく使用されるアナログスタイルのコンプレッサーを再現します。リバーブの「REV-X」は、スムーズな減衰や広がり、奥行きのある高密度で豊かな残響が得られます。「Sweet Spot Morphing Channel Strip」は、モーフィング機能を使用してサイドチェーン対応コンプレッサーと3バンドパラメトリックイコライザーの最適な設定を簡単に得ることが可能です。加えて、すべてのプラグインの VST ソフトウェアバージョンも含まれています。

5. 32bit 整数対応「Cubase AI」付属

『AXR4T』は、Core Audio 規格をサポートするすべてのオーディオ編集、マスタリング、および音楽制作ソフトウェアと互換性があります。付属の「Cubase AI」は、32 ビット整数(最大 192kHz)で録音再生可能なため『AXR4T』との連携に最適で、「Cubase AI」から『AXR4T』を直接操作することも可能です。

<主要規格>

マイク/ライン入力 1~4 (バランス)	周波数特性	+0.1/-0.1dB, 10Hz to 22kHz @ 48kHz +0.1/-0.2dB, 10Hz to 44kHz @ 96kHz +0.1/-0.5dB, 10Hz to 88kHz @ 192kHz +0.1/-3dB, 10Hz to 100kHz @ 384kHz
	ダイナミックレンジ	119dB, A-Weighted
	THD+N	0.0004%, 1kHz, 22Hz/20kHz BPF
	最大入力レベル	+24dBu
	入力インピーダンス	3.3kOhm
	GAIN 範囲	+15dB - +68dB
	Pad	-20dB
HI-Z 入力 1, 2 (アンバランス)	最大入力レベル	+10dBV
	入力インピーダンス	1MOhm
	GAIN 範囲	+15dB - +68dB
	Pad	-20dB
ライン入力 5~12 (バランス)	周波数特性	+0.1/-0.1dB, 10Hz to 22kHz @ 48kHz +0.1/-0.2dB, 10Hz to 44kHz @ 96kHz +0.1/-0.5dB, 10Hz to 88kHz @ 192kHz +0.1/-3dB, 10Hz to 130kHz @ 384kHz
	ダイナミックレンジ	119dB, A-Weighted
	THD+N	0.0006%, 1kHz, 22Hz/20kHz BPF
	最大入力レベル	+24dBu
	入力インピーダンス	20kOhm
	入力レベル選択	+4dBu (20dBHeadroom), +4dBu (14dBHeadroom), -10dBV Selectable
ライン出力 1~8 (バランス)	周波数特性	+0.1/-0.1dB, 10Hz to 21kHz @ 48kHz +0.1/-0.3dB, 10Hz to 43kHz @ 96kHz +0.1/-1dB, 10Hz to 83kHz @ 192kHz +0.1/-3dB, 10Hz to 120kHz @ 384kHz
	ダイナミックレンジ	117dB, A-Weighted
	THD+N	0.0006%, 1kHz, 22Hz/22kHz BPF
	最大出力レベル	+18dBu
	出力インピーダンス	75Ohm
デジタル A I/O インターフェース	ADAT	ADAT, Optical, 24-bit
	S/PDIF	IEC-60958, Optical, 24-bit
デジタル B I/O インターフェース	ADAT	ADAT, Optical, 24-bit
	S/PDIF	IEC-60958, Optical, 24-bit
	AES/EBU	AES/EBU Professional use, RS422, 24-bit

ヘッドフォン	最大出力レベル	75mW+75mW, 40Ohm
Thunderbolt	仕様	Thunderbolt 2, 32-bit, 44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/ 176.4kHz/192kHz/352.8kHz/384kHz
MIDI	入出力	DIN 5pin
WORDCLOCK	入出力	TTL/75Ohm
XLR 入力	極性	1: Ground, 2: Hot (+), 3: Cold (-)

<動作環境>

	AXR4T	Cubase AI 10
対応 OS	macOS 10.12 / 10.13 / 10.14	
CPU	64bit Intel マルチコア CPU (Intel i5 またはそれ以上を推奨)	
必要メモリー	4GB 以上	4GB 以上 (8GB 以上を推奨)
ハードディスク	1.5GB 以上の空き容量	30GB 以上
ディスプレイ	1,440×900 ピクセル以上 - フルカラー	1,440×900 ピクセル以上 - フルカラー (1,920×1,080 以上を推奨)
その他	<ul style="list-style-type: none"> •Thunderbolt 2 を搭載したコンピューター •インターネット接続環境 (最新ドライバーダウンロードの際に必要)	<ul style="list-style-type: none"> •インターネット接続環境 (最新ドライバーダウンロードの際に必要)

* 上記の動作環境・推奨環境を満たしている場合でも、全てのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。コンピューターの総合的な性能によりパフォーマンスに違いがあります。

* 上記動作環境は 2019 年 1 月 25 日現在のものです。今後変更になる可能性がありますので、最新バージョンは Steinberg サイト (<https://japan.steinberg.net/>) でご確認ください。

<注>

1) 株式会社ヤマハミュージックジャパン

日本国内における楽器・音響機器卸販売および教室事業を行うヤマハ株式会社の 100%子会社。
本社：東京都港区。

2) Steinberg Media Technologies GmbH

音楽制作ソフトウェア等の開発、販売を行うヤマハ株式会社の 100%子会社。1984 年設立。
本社：独・ハンブルグ市。



スタインバーグ オーディオインターフェース
『AXR4T』

オープンプライス

※画像はイメージで、実際の製品とは異なります。

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

メディアリレーショングループ 担当：佐藤

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

スタインバーグ・コンピューターミュージック・インフォメーションセンター

ウェブサイト <https://japan.steinberg.net/jp/support.html>